

授業科目名 (英文名)	ドイツ語 2 (German 2)	科目区分 対象学生	
単位数	1.00	開講年次・ 学期	1 年次・前期
担当教員	毛利 真実	所属	非常勤講師
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	言語的に英語と近い関係にあるドイツ語は、母語としてはEU（ヨーロッパ連合）で最も多くの人々に話されている言葉です。この授業は、コミュニケーション・ツールとしての基礎的なドイツ語運用力（聞く・話す・読む・書く）を身につけることを目的とした、ドイツ語入門講座です。		
講義内容・授業計画	<p>【授業内容】</p> <p>さまざまな日常会話をとおして、ドイツ語の発音、語彙、基本的な表現、そして、ドイツ語という言葉のしくみを学んでいきます。さらに、対話練習や聴き取り練習によって、ドイツ語によるコミュニケーション能力を養います。</p> <p>【授業計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 挨拶、発音、発音練習 2. お元気ですか？ 3. 自己紹介をする 4. 食べ物、飲み物の注文 5. 代金を支払う 6. 命令文 7. 道案内をする 8. きょうだいはいますか？ 9. メールを書く 10. 職業を尋ねる 11. 家族について紹介する 12. 場所を言う 13. 予定を聞く 14. 手紙を書く 15. まとめと評価 		
テキスト	毛利真実著『ドイツ語をはじめましょう 初級ドイツ語（三訂版）』 大学生協で購入してください。後期も継続して使用します。		
参考文献	適宜、プリントを配布します。		
成績評価の基準・方法	<p>成績評価の基準</p> <p>入門レベルのドイツ語運用力を修得した者に単位を授与する。 講義目的・到達目標に記載する能力の到達度に応じてSからCまで成績を与える。</p> <p>成績評価の方法</p> <p>定期試験を基準として、平常点（授業への積極的な参加等）を含めて総合的に評価する。</p>		
履修上の注意・履修要件	<p>新型コロナウイルス感染症に伴う特例措置に基づく遠隔授業</p> <p>当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とする場合があり、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。</p>		
実践的教育	該当しない。		
備考			